

# タイトル『この本を盗む者は』

著者：深緑 野分 出版社：角川文庫

“本の町”<sup>よみながまち</sup>読長町に住む、高校生の深冬<sup>みふゆ</sup>。  
本作の主人公、深冬の家は代々巨大な書庫“御倉館”<sup>みくらかん</sup>  
の管理人を務めているが、深冬は本が嫌いなのだ。  
そんなある日、御倉館から本が盗まれたことで  
本の呪い、ブック・コースが発動し、読長町は物語  
の世界へ変貌してしまった。

ブック・コースを解消すべく深冬は真白と共に不  
思議な世界へととびこんでいく。



ファンタジーでありながら、たくさんの伏線から真  
実へとどりつくミステリーでもある読む牛がとまらない  
おてきな本です。

彩やかな情景が浮ぶ表現や、人物の心情の  
移り変わりにも注目してみてください。

ぜひ読んでみてください！

投稿日 2024年 11月 8日

ペンネーム (本名は書かないでね！)

B型

年齢

14

仙台市 市民図書館 YAコーナー